

▼ＩＮＤＥＸ▼

■【監査室 WEB 情報】
・「監査ニュース」～　東京大学教授　研究費不正受給で逮捕　～　外７件
・内部監査事例集の掲載について－文書及び公印の管理に関する監査－
■【内部監査情報】
・平成２４年度内部監査報告書（フォローアップ監査）の掲載について
■【連載企画】
・監査でほんとにあった怖い話「この謎の**黒い物体**はなんだ?!」
■【Audit Cafe】
・「引退セレモニーに想う」

表題写真：庭の向日葵

監 査 室 WEB 情 報

・「監査ニュース」　～東京大学教授　研究費不正受給で逮捕～　外７件

鹿児島大:アカハラで男性教授を論旨解雇処分 教授は提訴の方針
学生の個人情報を記録した USB メモリを教育職員が紛失（中部大学）
セクハラやアカハラ続々、教授ら 5 人の処分未公表 北大
大東文化大、在校生など 2 万人の個人情報が入った USB メモリを紛失
「研究環境抜群」東北大はブラック企業 「大賞投票」でワタミに次ぎ現在 2 位
東京大学 分子細胞生物学研究所 加藤茂明グループの論文捏造、研究不正
東京大学教授　研究費不正受給で逮捕

夏祭りに出かけてみてはいかがでしょうか？東北夏祭り一覧

【監査ニュース】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/tantou-HP/news/news-top.htm

・内部監査事例集の掲載について　－文書及び公印の管理に関する監査－



先月号でお知らせしておりました「内部監査事例集」について、諸般の事情により掲載が遅れておりましたが、８月１日付で監査室ＷＥＢページに掲載いたしましたのでお知らせいたします。

普段の業務において、文書や公印等の処理は、あまりにも当たり前の事になり、規程やその手続き本来の意味を理解することなく処理することが多くなってきております。

今回の「内部監査事例集」では、監査で指摘した事例や業務毎のチェックポイント等を掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧になり、文書及び公印の管理業務の点検等にご活用ください。

【WEB 事例集】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/tantou-HP/jirei/jirei-top.htm

内 部 監 査 情 報

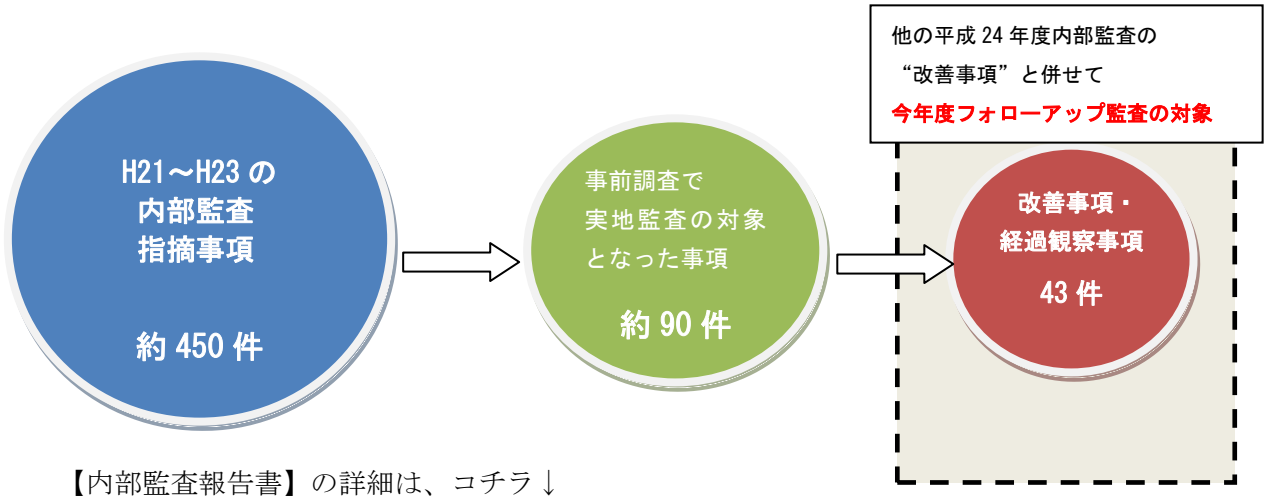
平成 24 年度内部監査報告書（フォローアップ監査）が WEB ページに掲載されました。

昨年 12 月から 2 月の下旬にかけて実施されたフォローアップ監査の内部監査報告書が WEB ページに掲載されました。

今回のフォローアップ監査は平成21～23年までの間に行われた全ての内部監査で指摘した事項（約 450 件）を対象に、事前調査を行うことで監査対象となる指摘事項（約 90 件）を洗い出して実地監査を行いました。

その結果、概ね当時の指摘は改善されていることが確認できましたが、総件数の約 10%にあたる 43 件（総件数の約 10%）ついては、未改善である等の理由からあらためて指摘事項とさせていただきました。

なお、この指摘事項 43 件についても、平成 24 年度に実施した他の内部監査の改善事項と同様、フォローアップ監査の対象となります。現在、該当部局には改善計画（状況）回答書の提出を依頼しているところですが、改善に向けてご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



【内部監査報告書】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/kansa-houkoku/kansa-houkoku-top.htm

連 載 企 画

監査で ほんとにあった怖い話

内部監査等において見受けられた事例を取り上げ、一見些細なことながら、実は法令違反の可能性、会計検査院に指摘されかねない等、大きなリスクを有している事例を、ピックアップして紹介する新コーナー。
（言われてみれば、ウチの部局でもやっているかもしれない・・・，ウチの部局でも同じような事例が起こり得る・・・）といったヒヤリを超えて、背筋が凍ってしまうような留意すべき話題を提供します。



第 2 回目となる**「ほんとにあった怖い話」**は、“この謎の**黒い物体**はなんだ？！”と題して始めたいと思います。いったいどんな話になることやら・・・。

普段皆様は、不動産や自動車といった重要な取引の場面や日常的な雑務に至る色々な場面で、書類等に印鑑等（実印、認印、三文判、簡易型スタンプ印（いわゆるシャチハタ印））を使用することがあると思いますが、その印鑑の効力について考えたことがありますでしょうか？

印鑑の効力は、「該当する契約等において、本人自らが確認し、最終的な意思決定を行った」ことを証明することだと考えられています。よって印鑑が押された書類は、「本人自らが内容を確認し、最終的な意思決定を行った書類」ということになります。
このように、本人の意思決定を証する印鑑の管理は、非常に重要なのです。



一方、学内には「私印」の他に、「公印」と呼ばれる印鑑があります。公印は、押印された文書が真正であるということを証明するものであり、本学ではその重要性から「公印規程」を作成し、公印の管理方法や使用方法を定めています。
平成２４年度に実施した「文書及び公印の管理に関する監査」では、「公印規程」に基づき公印の管理を適正に行っているかを確認させてもらいましたが、公印を適正に管理運用しているところは少なく、「今回の監査で初めて公印簿を見た」という公印管守担当者も少なからずいたようです。
また、とある部局にて、公印簿と公印を突合したところ、公印簿に記載されていない公印を保管していた部局もありました。内部監査が行われるまで、一切その公印の存在には気づかず、誰が、いつ、何のために作ったのかさえも全く不明という**「その黒い物体」**に、朱肉をつけて押印してみれば、そこに現れた文字に一同背筋が凍りつくという、恐怖の体験をしたのでありました。



あ～恐ろしい！皆さんも、こんなことにならないように日頃から、印鑑（私印・公印）の管理にはお気を付けください。

さて、第２回の**「ほんとにあった怖い話」**はいかがだったでしょうか。
このコラムでは、毎月監査スタッフが交代で担当することになっており、今後も監査において見受けられた事例を元に、当該事例に潜むリスク等を解説していく予定です。

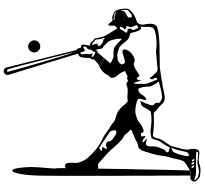
Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「引退セレモニーに想う」というお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

先日、松井秀喜氏がヤンキースタジアムで引退セレモニーに臨んだというニュースが、テレビや新聞で報じられました。このヤンキースタジアム、2009 年に建築されたものですが、その前身である旧ヤンキースタジアムで、1923 年に初めてホームランを放ったのが、当時スタープレーヤーだったベーブ・ルースでした。

このベーブ・ルースが、戦前の昭和 9 年に、現在の八木山動物公園の位置にあった八木山球場で日本代表チームと親善試合を行い、ホームランを 2 本放ったことを知っている方も多いかと思います。筆者が大学生の頃、英語の授業で教壇に立った先生が、この試合を観戦した当時のことを話してくれたことがありました。

先生はまだ中学生で、家族と一緒に観戦していましたが、やがて打席に立ったベーブ・ルースが、大きなホームランを放ちました。ホームランボールは、外野席（と言っても雑草の生い茂る斜面だったようですが）に座っていた先生の頭上を飛び越えて、遥か後方に落ちたそうです。観客はボールを拾おうと一斉に群がりましたが、どうせ拾えないだろうと、先生はそのまま立ち上がることもなく座っていたそうです。



すると、先生のお尻のあたりに何かが当たる感触がありました。振り返ると、なんとそれは野球ボールでした。そのボールが、ベーブ・ルースの放ったホームランボールだと悟った先生は、すぐに持っていた鞄にボールをしまい込み、試合後ベーブ・ルースの宿舎を

訪れ、サインをもらって帰ったとのことでした。

この試合でベーブ・ルースの放った 2 本のホームランボールのうち、1 本は所在が確認されておりましたが、残る 1 本は最後まで見つからず、このボールが長らく「幻のホームランボール」として語り継がれるようになるとは、当の先生も予想していなかったようです。

ところで、八木山球場でホームランを放ったベーブ・ルースは、このシーズンをもって 15 年間在籍したニューヨーク・ヤンキースを退団し、翌年、40 歳で現役を引退しました。現役選手としての最晩年に日本で行われた親善試合により、日本の野球人気が高まりを見せ、読売ジャイアンツの前身である大日本東京野球倶楽部が誕生しました。後年、そのチームでホームランバッターとして活躍した松井選手が、やがてヤンキースの一員となり、ヤンキースタジアムでニューヨーカー達に惜しまれつつ引退セレモニーに臨んだという事実は、筆者には何かの巡り合わせとしか思えません。

Agent K 

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめ～る」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
０２２－２１７－４８７４（監査室長：金子）
０２２－２１７－５６８０，４８８０（佐藤、荒澤、菊地、西川）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@bureau.tohoku.ac.jp


Copyright(C) Audit Office,Tohoku University . All rights reserved.
本メールの無断転載を禁止します